

住宅瑕疵担保責任保険 設計施工基準改定ポイント

2009.7

設計施工基準の改定ポイント

- (1) 設計施工基準が5法人で統一
- (2) これまで記載のない工法に対応
- (3) 7月1日から運用開始

当社としての主な改定ポイント

- (1) 現地調査チェックシート、基礎設計のためのチェックシートの設定
- (2) べた基礎配筋表の設定
- (3) 補強コンクリートブロック造の基準設定

設計施工基準の改定ポイント

1. 木造(その1)

項目	現状	改定後
地盤調査	記載なし	現地調査チェックシートにより、不同沈下に繋がる現地状況がないことが確認できた場合のみ、地盤調査が不要
地盤調査	SSを前提とした記載 (4隅4点)	地盤調査方法や敷地条件に応じた計測箇所での計測
地盤補強	地盤補強の要否は地盤調査結果の考察のみで判断	地盤調査結果の考察のほか、基礎設計のためのチェックシートによる判定も可能
基礎	べた基礎配筋表なし	べた基礎配筋表を追加
下葺き材の品質及びふき方	谷部及び棟部の重ね合わせはそれぞれ250mm以上	ただし書き追加(ふき材製造者の施工基準においてふき材の端部に止水措置を施すなど当該基準が雨水の浸入防止のために適切であると認められる場合は当該基準によることができる)
下葺きの軒先部	防水テープで固定	実態に合わせて削除

設計施工基準の改定ポイント

1. 木造(その2)

項目	現状	改定後
木造陸屋根	記載なし	陸屋根については第8条に規定
バルコニー防水の勾配	1/50以上の勾配	ただし書き追加(防水材製造者の施工基準において表面排水を行いやすい措置を施すなど当該基準が雨水の浸入防水のために適切と認められる場合は当該基準によることができる)
バルコニー及び陸屋根の防水工法	記載なし	防水材は下地の変形及び目違いに対し安定したものでかつ破断又は穴あきが生じにくいものとし、以下のいずれか。 なお、歩行を前提とする場合は強度や耐久性を確保。 (1) 金属板(鋼版)ふき (2) 塩化ビニール樹脂系シート防水工法 (3) アスファルト防水工法 (4) 改質アスファルト防水工法 (5) FRP系塗膜防水工法(ガラスマット補強材を2層以上、ただし防水材製造者の施工基準において施工面積が小さく、ガラスマット補強材に十分な強度が認められる場合など当該基準が雨水の浸入防止のために適切と認められる場合は1層とすることができる) (6) FRP系塗膜防水と改質アスファルト防水又はウレタン塗膜防水を組み合わせた工法

設計施工基準の改定ポイント

1. 木造(その3)

項目	現状	改定後
バルコニー及び陸屋根の壁面取合部	陸屋根・手すり壁又はパラペット部分の記載なし	壁面との取り合い部に手すり壁又はパラペット(手すり壁等)との取り合い部を含む
手すり壁等	笠木の防水は弾性系の両面接着防水テープ等のみ	上端部は金属製笠木の設置など適切な防水措置を施す。 笠木等は釘やビスを用いる場合、防水層を貫通する部分に予め防水テープやシーリングを用いて止水措置を施す。 外壁を通気構法とした場合のパラペットは外壁の通気を妨げない形状とする。
外壁防水紙の重ね合わせ	横の重ね合わせは窯業系サイディング150mm以上、金属系サイディング180mm以上	窯業系は150mm以上、金属系は150mm以上。 ただし書き追加(サイディング材製造者の施工基準が適切であると認められる場合は当該基準によることができる。)
乾式の外壁仕上げ(胴縁の断面寸法)	サイディング材のジョイント部に用いるものは幅90mm以上	幅90mm以上又は45mm以上を2枚あわせ
乾式の外壁仕上げ(留め付け)	450mm内外の間隔に釘、ビスで留め付け。端部から20mm以上離して先行穴あけ、指定釘、ビス使用	ただし書き追加(サイディング材製造者の施工基準が適切であると認められる場合は当該基準によることができる)

設計施工基準の改定ポイント

2. RC造

項目	現状	改定後
地盤調査	SSを前提とした記載 (4隅4点)	地盤調査は、地盤の許容応力度及び軟弱地盤又は造成地盤等が判断できる調査を行う。この場合、実施する地盤調査方法に応じた計測箇所で行う。ただし小規模な建築物で敷地内の地盤がおおむね均質であると認められる場合など、適切に地盤の状況を把握することができる場合は3箇所以下(1箇所以上)の計測箇所数とすることができる。
下葺き材の品質及びふき方	谷部及び棟部の重ね合わせはそれぞれ250mm以上	ただし書き追加(ふき材製造者の施工基準においてふき材の端部に止水措置を施すなど当該基準が雨水の浸入防止のために適切と認められる場合は当該基準によることができる)
下葺きの軒先部	防水テープで固定	実態に合わせて削除

3. S造

項目	現状	改定後
防水工法	防水下地はRC造と同様	防水下地の種類として現場打ち鉄筋コンクリート又はプレキャストコンクリート部材のほか、ALCパネルを追加

4. 補強コンクリートブロック造

項目	現状	改定後
-	記載なし	補強コンクリートブロック造の基準を設定